

平成 26 年 10 月 10 日

計算プログラム 修正点 (Ver.1.12 → Ver.1.13)

下記の修正を行いました。

1. 画面の表示を次のように修正しました。

- ・ ヘッダー部 (プログラム名称等の掲載部分) を常に表示されるようにスクロール固定しました。
- ・ ツールバー部 (「クリア」、「保存」、「読込」、「出力」、「計算結果表示部」) に「計算開始ボタン」を配置しました。
- ・ ツールバー部をすべての画面に表示するように変更しました。
- ・ プログラムの英語表示が可能になりました (画面右下の国旗アイコンで言語を切り替えることができます)。ただし、英語表示の際にはレイアウトが崩れることがありますので、予めご了承ください。

2. 「給湯・温水暖房一体型熱源」の評価を追加しました。「熱源機 (給湯・温水暖房一体型) の種類」の選択は「給湯」タブで行います。なお、「暖房」タブで選択していた「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型暖房機」、および、「給湯」タブで選択していた「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 (ハイブリッド 1、ハイブリッド 2、ダブルハイブリッド)」は、それぞれ次のとおり入力するようになりました。

- ・ ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型暖房機
 - ① 「暖房」タブの「温水暖房機の種類」で「給湯・温水暖房一体型を使用する」を選択
 - ② 「給湯」タブの「熱源機の種類」で「給湯・温水暖房一体型」を選択
 - ③ 「給湯」タブの「熱源機 (給湯・温水暖房一体型) の種類」で「電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯温水暖房機」を選択
 - ④ 「給湯」タブの「熱源構成」で「暖房部：電気ヒートポンプ・ガス、給湯部：ガス」を選択
- ・ ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機 (ハイブリッド 1、ハイブリッド 2、ダブルハイブリッド)
 - ① 「給湯」タブの「熱源機の種類」で「給湯・温水暖房一体型」を選択
 - ② 「給湯」タブの「熱源機 (給湯・温水暖房一体型) の種類」で「電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯温水暖房機」を選択

③「給湯」タブの「熱源構成」で、次のとおり選択

旧入力	新入力
「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機（ハイブリッド1）」	「暖房部：ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガス（フロン系冷媒）」、「タンク容量（小）」
「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機（ハイブリッド2）」	「暖房部：ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガス（フロン系冷媒）」、「タンク容量（大）」
「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機（ダブルハイブリッド）」	暖房部：電気ヒートポンプ・ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガス

3. 「可変容量型コンプレッサー」を搭載したルームエアコンディショナーの評価を追加しました。次の手順で入力することができます。
 - ①「暖房（冷房）」タブの「暖房（冷房）設備機器または放熱器の種類」で「ルームエアコンディショナー」を選択
 - ②「省エネルギー対策の有無および種類」で「エネルギー消費効率の区分を入力することにより省エネルギー効果を評価する」を選択
 - ③「容量可変型コンプレッサー」で「搭載する」を選択
4. 「暖房設備機器または放熱器の種類」に「ルームエアコンディショナー付温水床暖房機」を追加しました。
5. 「温水暖房を設置する場合」の熱源に関する入力項目の選択肢を次のように修正しました。

「温水暖房を設置する場合」の入力項目の選択肢

修正前	修正後
熱源機の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・石油熱源機 ・ガス従来型熱源機（給湯機） ・ガス潜熱回収型熱源機（給湯機） ・電気ヒートポンプ式熱源機 	温水暖房機の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・温水暖房専用型 <ul style="list-style-type: none"> ・石油従来型温水暖房機 ・石油潜熱回収型温水暖房機 ・ガス従来型温水暖房機

<ul style="list-style-type: none"> ・電気ヒーター式熱源機 ・ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型暖房機 ・コージェネレーションまたは給湯機を使用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス潜熱回収型温水暖房機 ・電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒） ・電気ヒーター温水暖房機 ・給湯・温水暖房一体型を使用する ・コージェネレーションを使用する ・その他の温水暖房機 ・温水暖房機を設置しない
--	---

- 「温水式床暖房」および「電気ヒーター床暖房」の「床の断熱（上面放熱率）」の入力を選択方式から数値入力（1～100%の範囲で1%刻み）に変更しました。
- 熱交換型換気設備について、7地域・8地域は計算対象外であったものを、全地域を計算対象とするように修正しました。
- 「熱交換型換気を採用する」を選択した場合の入力項目を次のように修正しました。

「熱交換型換気を採用する」を選択した場合の入力項目

修正前	修正後
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・温度交換効率（数値入力、40～95%まで1%刻み）[%] ・給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数（数値入力、0～1までで0.01刻み）[-]（小数点以下2桁） ・排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数（数値入力、0～1までで0.01刻み）[-]（小数点以下2桁）

- 「ソーラーシステム（太陽熱給湯 2）」の循環ポンプの消費電力について、ガス熱源機または石油熱源機の場合しか積算されていなかったものを、熱源種別に関わらず積算するように修正しました。

10. 「ソーラーシステムを採用する（太陽熱給湯 2）」を選択した場合の「貯湯タンクの容量」の入力を選択方式から数値入力（0 リットル～1000 リットルまで1 リットル刻み）に変更しました。
11. 「太陽電池アレイの種類」における選択肢の表記を次のように修正しました。

「太陽電池アレイの種類」における選択肢

修正前	修正後
結晶系太陽電池	結晶シリコン系太陽電池
結晶系以外の太陽電池	結晶シリコン系以外の太陽電池

12. プログラムの入力項目に予め選択・入力されている初期値を次のように修正しました。

プログラムの入力項目に予め選択・入力されている初期値

入力項目	初期値	
	修正前	修正後
暖房（冷房）設備の「ダクト式セントラル空調機を用いて、住宅全体を暖房（冷房）する」を選択した場合の暖房（冷房）設備機器の選択	（なし）	ダクト式セントラル空調機（ヒートポンプ式熱源）
「温水床暖房」または「電気ヒーター床暖房」を選択した場合の「敷設率」	（なし）	50%
「温水床暖房」または「電気ヒーター床暖房」を選択した場合の「床の断熱（上面放熱率）」	（なし）	70%
「FF 暖房機」を選択した場合の「省エネルギー対策の有無および種類」	（なし）	特に省エネルギー対策をしていない
太陽熱給湯の「集熱部の設置傾斜角」	0 度（水平）	30 度

太陽光発電の「太陽電池アレイ設置方式」	架台設置型	屋根置き形
太陽光発電の「パネル設置傾斜角」	0度（水平）	30度

13. 「出力様式」を次のように修正しました。

- ・「1. 住宅／住戸（タイプ）の設計一次エネルギー消費量等 （4）住宅／住戸（タイプ）の一次エネルギー消費量（1戸当たり）」の「照明設備」と「給湯設備」の位置を入れ替えました。
- ・「2. 当該特定住宅（住宅タイプ）の仕様 （1）暖冷房仕様 A.外皮」において「通風を利用する」場合の換気回数の単位を「回」から「回/h」に修正しました。
- ・「2. 当該特定住宅（住宅タイプ）の仕様 （1）暖冷房仕様 B. 暖房設備」の表記を次のように修正しました。

「2. 当該特定住宅（住宅タイプ）の仕様 （1）暖冷房仕様 B. 暖房設備」の表記

訂正前	訂正後
「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはそれぞれに暖房設備機器（以下省略）	「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいは <u>いずれかに</u> 暖房設備機器（以下省略）

以 上